

みなさん、こんにちは。今日は、日本の冬についてお話していきます。  
日本の冬はとても寒いですが、でも、楽しいこともたくさんあります。  
この動画では、日本の冬の良いところや、過ごし方をご紹介しますね。

## 1. 日本の冬の気候

日本の冬は、他の国と比べて、とても寒く感じるがよくありますね。  
特に北の地方では、雪がたくさん降って、景色が白く変わります。  
しかし南の地方では、冬でも雪はあまり降らず、あまり寒くありません。  
このように、日本の冬の天気は場所によって、大きく違ってきます。  
その一番大きな理由は、日本が南北に長く、島国だからです。  
日本列島の形が、冬の気候にとっても大きな影響があるのです。  
冬になると、シベリアから冷たい風が吹いてきます。これが「季節風」です。  
この冷たい風が、日本海を渡る時に、たくさんの水分を含みます。  
そして、日本の高い山にぶつかって、雪や雨をたくさん降らせます。  
だから、日本海側の地域では、冬にとってもたくさんの雪が降るのが特徴です。  
例えば、新潟県や東北地方の日本海側では、雪が深く積もります。  
雪かきは、雪をどかす作業で大変ですが、冬の暮らしには大切です。  
一方、太平洋側の地域では、乾いた晴れの日が多くなります。  
東京や大阪のような大きな街がある地域では、あまり雪が降りません。  
晴れた日が多くて、空がとてもきれいに見えるのが特徴になっています。  
しかし、朝と夜はとても冷えるので、暖かい服装が必要になります。  
冬の最低気温は、北海道ではマイナス20度以下になることもあります。  
東京の冬は、0度近くまで気温が下がることがよくあります。  
なので、暖かいコートやマフラーは、日本の冬を気持ちよく過ごすために大切です。  
体をこわさないように、しっかりと寒さの準備をしてくださいね。  
地域によって違う、日本の冬の気候について、少しは分かりましたか。  
次からは、冬の様々な楽しみ方について、ご紹介していきます。

## 2. 冬の楽しい行事

寒い冬の季節には、心が温かくなるような楽しい行事があります。  
家族や大切な人と一緒に過ごす時間が、とても増える季節です。

これから、日本の冬にある特別な行事を、いくつかご紹介していきましょう。

まず、12月25日はクリスマスです。多くの人を楽しみにしています。

街の木や建物には、きれいな電気がつきます。夜になるとキラキラ光ります。

この光の飾りを、日本ではイルミネーションと呼んで楽しんでいます。

クリスマスには、家で特別なケーキを食べたりします。とてもおいしいですよ。

また、家族や恋人の間でプレゼントを交換する習慣も広くあります。

日本では、神様を信じることよりも、恋人や家族と過ごす日になっています。

12月の最後の日、31日は「大晦日」と言います。一年が終わる日です。

この日の夜には、「年越しそば」というそばを食べる家が多いです。

そばは細くて長いので、健康で長く生きられるようにと願いを込めて食べます。

また、夜中になると、近くのお寺が鐘をつきます。「除夜の鐘」と言います。

この鐘の音を聞きながら、人々は静かに一年を思い出し、新しい年を迎えます。

そして、1月1日から「お正月」です。新しい年の始まりを祝います。

多くの会社や店が休みになり、実家に帰って、家族と一緒に過ごす人が多いです。

新しい年に会った人には、「あけましておめでとう」という挨拶をします。

お正月になると、多くの人々が神社やお寺に行きます。これを「初詣」と言います。

去年一年間のありがとうを伝えて、新しい年も良い年になるようにお願いします。

有名な神社やお寺には、とてもたくさんの方が集まり、とてもにぎやかになります。

お正月には、「おせち料理」という特別な料理を食べる習慣があります。

おせち料理は、重箱という四角い箱の中に、たくさんの料理を入れたものです。

それぞれの料理には、家族の健康や幸せを願う、良い意味があります。

お米から作る「おもち」も、お正月に食べることが多い大切な食べ物です。

焼いてしょう油をつけたり、「お雑煮」という温かい汁に入れて食べたりします。

子どもたちにとっては、「お年玉」が一番の楽しみかもしれません。

お年玉は、大人が子どもにあげるお金のことです。小さな袋に入っています。

次に、2月には「節分」という行事があります。季節が分かれる日という意味です。

この日には「豆まき」をします。「鬼は外、福は内」と言いながら家の中に豆をまきます。

悪いものを家の外に出して、良いものが入ってくるようにという願いがあります。

その後、自分の年の数だけ豆を食べると、その年は病気にならないと言われます。

また、雪がたくさん降る北の地方では、冬に雪のお祭りが開かれます。

特に有名なのは、北海道の札幌市で開かれる「さっぽろ雪まつり」です。

雪や氷で作られた、大きくて美しい像が公園にたくさん並びます。

お城やアニメのキャラクターが本物そっくりに作られて、世界中から人が集まります。

夜になると像が様々な色に照らされて、夢の中のような景色です。

2月14日は、バレンタインデーですね。日本にもその習慣があります。

日本では、女性から男性へ、好きという気持ちを込めて、チョコレートを贈ります。

最近では、友達同士でチョコレートを交換することもとても人気があります。

日本の冬の行事は、家族の幸せや健康を願うものが多いのが特徴です。

寒い季節だからこそ、みんなで一緒に集まって、心温まる時間を過ごします。

### 3. 温かい冬の食べ物

寒い冬には、体を中から温めてくれる料理が食べたくくなりますね。

日本の冬には、みんなでテーブルを囲んで食べる、おいしいものがたくさんあります。

ここでは、そんな日本の冬によく食べられるものを紹介します。

まず、冬の料理といえば「鍋料理」が有名です。とても人気があります。

鍋料理は、テーブルの真ん中に大きな鍋を置いて、みんなで料理しながら食べます。

色々な材料を、温かい汁で煮て食べる、とても簡単なスタイルの料理です。

たくさんの種類がある中で、「すき焼き」は特別な日に食べることが多いです。

薄く切った牛肉や野菜を、醤油と砂糖で甘くした汁で煮て作ります。

煮えたお肉や野菜を、生の卵につけて食べるのがすき焼きの特徴です。

次に、「しゃぶしゃぶ」もとても人気のある鍋料理の一つです。

こちらは、お湯の中に薄いお肉や野菜を少し入れて火を通して食べます。

お肉に火が通ったら、「ポン酢」や「ごまだれ」という特別なタレにつけます。

また、「寄せ鍋」という鍋料理もよく食べられます。色々な具材を入れます。

魚や鶏肉、きのこなど、好きなものを何でも入れて楽しむことができます。

鍋料理の最後には、残ったおいしい汁の中に、ご飯や麺を入れます。

これを「締め」と言います。最後の一滴まで、おいしく食べるための工夫です。

鍋料理のほかには、「おでん」も冬の味として多くの人に愛されています。

おでんは、大根や卵、魚から作ったものなどをだしで長く煮込んだ料理です。

だしとは、魚や昆布からとった、日本の料理の基本になる汁のことです。

おでんの具材は、一つ一つ味が違って、選ぶのがとても楽しいですよ。

コンビニエンスストアでも冬になるとレジの横で温かいおでんを売っています。

気軽に買えるので、寒い日に体を温めたいときにとっても便利ですね。

冬は、魚がおいしくなる季節でもあります。脂が多くなります。

特に「ぶり」という魚は、冬に一番おいしいです。「旬」の魚と呼ばれます。

旬とは、野菜や魚が一番おいしくなる季節のことです。

ぶりは、焼いて食べる「照り焼き」や、大根と一緒に煮る料理も人気です。

また、「カニ」も冬の特別な料理として有名です。少し値段が高いです。

特に日本海側では、新鮮でおいしいカニがたくさんとれます。

焼いたり、鍋に入れたり、生のまま食べたりと、色々な楽しみ方があります。

冬に旬になるのは、魚だけではなくありません。野菜もとてもおいしくなります。

鍋料理にもよく使われる白菜や長ネギ、きのこは冬の代表的な野菜です。

冬の野菜は甘くなって、体を温める効果もあると言われています。

果物では「みかん」が冬のテーブルにはよくあります。多くの家庭で食べます。

日本では、冬になると「こたつ」という暖かいテーブルを使う家があります。

こたつに入りながら、家族でテレビを見て、みかんを食べるのが定番です。

みかんは手で簡単に皮をむくことができるので、とても食べやすい果物です。

寒い冬に不足するビタミンをたくさん含んでいて、風邪をひきにくくします。

温かい飲み物も、冬の楽しみの一つです。「甘酒」は昔からの飲み物です。

甘酒は、お米から作られた甘くて白い飲み物です。アルコールはほとんどありません。

お正月に神社へ行くと、お参りに来た人のために温かい甘酒を用意しています。

また、「おしるこ」や「ぜんざい」という温かい甘い食べ物もあります。

これらは、小豆という豆を砂糖で甘く煮て、その中に焼いたおもちを入れたものです。

寒い日に食べると、体の芯から温まって、幸せな気持ちになります。

日本の冬の食べ物は、ただ体を温めるだけでなく、家族の時間も温めます。

もし日本に来る機会があれば、ぜひ冬の温かい料理を味わってみてください。

#### 4. 冬の美しい景色

日本の冬は寒いですが、この季節にしか見られない特別な景色があります。

空気がとてもきれいで、遠くの山々まではっきりと見える日が多くなります。

ここでは、そんな冬だけの美しい風景をいくつか見ていきましょう。

冬の景色で一番有名なのは、やはり「雪景色」です。周りが全部白くなります。

雪が降った次の日の朝、太陽の光が雪に当たってきらきらと輝きます。

それは、まるで世界が新しくなったかのような静かで美しい光景です。

昔ながらの日本の建物に雪が積もった様子は、特別な良さがあります。

京都にある金閣寺は、金色の建物と白い雪の色の違いがとてもきれいです。

また、岐阜県の白川郷では、特別な形の屋根の家に雪が積もる景色が見られます。

その風景は、昔の日本の物語の中に入ったような気持ちにさせてくれます。北の地方の山の上では、「樹氷」という珍しいものを見ることができます。樹氷とは、木の枝に氷と雪がついてできる自然が作った飾りです。木がまるで白い怪物のような不思議な形に変わって、夢の中のようですよ。北海道の東の海では、「流氷」を見ることができるかもしれません。流氷は、遠い海でできた大きな氷のかたまりが、岸まで流れてきたものです。白い氷が海をいっぱいにする景色は、大きくて力のある美しさがあります。この流氷を見るためには、氷を割りながら進む特別な船に乗る必要があります。冬の楽しみ方として、「温泉」も忘れることはできません。温泉は、地面から出てくる温かいお湯のことです。日本にはたくさんあります。特に、外にある温泉の「露天風呂」から見る雪景色は最高です。温かいお湯に体を入れながら、冷たい空気の中で、静かに降る雪を眺めます。それは、日本の冬でしか味わうことができない、とても特別な時間です。また、冬には動物たちの特別な姿も見られます。例えば、長野県の猿です。寒い冬の間、野生の猿が山の温泉に入って体を温める様子は有名です。気持ちよさそうに温泉に入っている猿の姿は、とてもかわいらしいですよ。冬は花が少ない季節ですが、寒さの中で咲く花もちゃんとあります。「椿」という花は、雪の中でもきれいな赤い花を咲かせます。白い雪と赤い花の色の組み合わせは、とてもきれいに見えます。また、冬の終わりごろには、梅の花が咲き始めます。春が来たことを知らせる花です。梅は、白やピンクの小さな花を咲かせます。とても良い香りがします。寒い冬がもうすぐ終わって、暖かい春が来ることを、人々は梅の花で感じます。このように日本の冬には、厳しい寒さの中にある静かな美しさがあります。自然が作る景色や、雪と建物が作る風景など、良いところがたくさんありますね。

## 5. 冬の暮らしと準備

日本の冬を気持ちよく過ごすには、いくつかの準備と工夫がとても大切になります。昔から伝わる知恵や、便利な道具を使って、みんな冬の寒さを乗り越えます。ここでは、日本の冬の暮らしでよく使われるものや、大切なことをお伝えします。まず、部屋を暖かくするための道具についてお話しますね。もちろんエアコンを使う家庭も多いですけど、日本には他の道具もあります。その代表的なものが「こたつ」です。低いテーブルに布団がつかます。

テーブルの下が暖かくて、布団の中に足を入れるととても気持ちいいですよ。

家族みんながこたつに集まり、お話をしたり、テレビを見たり、みんなが集まる場所になります。

また、「石油ストーブ」も昔からよく使われています。部屋全体が暖かくなります。

このストーブは、灯油という油を燃やして熱を出します。使う時は注意が必要です。

使うときには、部屋の空気を新しくすることを、忘れないでください。

次に、冬の服装についてです。寒さから体を守るために「重ね着」をします。

重ね着は、薄い服を何枚も着ることです。服と服の間に空気が入ります。

この空気のおかげで、体の熱が外に逃げないのでとても暖かく感じます。

最近では、薄いのに温かい特別な機能がある下着もとても人気があります。

外に出かけるときに、良いものは「カイロ」です。小さいですが、温かいです。

袋から出して振ると、だんだん温かくなります。ポケットに入れて使います。

服に貼ることができるシールタイプのカイロもあって、とても便利です。

冬は、家の中にもいくつかの準備が必要になることがあります。

寒い日には、窓ガラスに水がたくさんつきます。これを「結露」と言います。

結露をそのままにしておくと、カビができてしまうので、こまめに拭くことが大切です。

特に寒い地域では、夜の間水道管の中の水が凍ってしまうことがあります。

水が凍ると、水道管が壊れて水が出なくなるので、特別な注意が必要です。

雪がたくさん降る地域では、家の周りの雪かきが毎日の大切な仕事です。

スコップなどの道具を使って、人が歩く道や、車の道を作る必要があります。

また、雪道を車で走る時は、滑らないように、必ず「冬用タイヤ」にします。

最後に、冬の健康管理はとても重要になります。空気がとても乾きます。

空気が乾いていると、風邪やインフルエンザにかかりやすくなります。

だから、多くの日本人は外から帰ったら、必ず「手洗い」と「うがい」をします。

これは、体の中に悪い菌が入らないようにする、とても大切な習慣です。

部屋の中では、加湿器という機械を使って、空気が乾かないようにします。

喉や肌が乾燥するのを防ぐのに、とても良い効果があります。

日本の冬の暮らしは、少し大変なこともあります。季節を楽しむ工夫がいっぱいです。

寒いからこそ、人々は温かさを大切にして、家族と過ごす時間を楽しみます。

ここまで、日本の冬について色々なことをお話しました。いかがでしたか。

もし冬の日本に来るなら、温かい服装を準備して、ぜひ楽しんでくださいね。

お疲れ様でした。最後まで見てくれてありがとうございました。

今日の動画はいかがでしたか？動画の感想や意見をぜひコメントで教えてください。

また、たくさん動画を作れますので、グッドボタンとチャンネル登録、ハイプをよろしくお願ひします。

それではまた別の動画でお会いしましょう。